



【教育目標】 自ら学び正しく判断して行動する国際性豊かな児童生徒の育成を
~~~~ 一人一人が輝く子どもの姿を求めて ~~~~

☆6月の目標

- ☆学習のまとめをしよう
- ☆みんなと なかよくしよう
- ☆笑顔で あいさつしよう

☆配布物のお知らせ

1 学校便り

☆今後の行事計画

- ・8月 5日 2学期始業日
- ・9月23日 運動会



☆二年二組おとうさんありがとう  
ほわいとまん みな  
おとうさんへ、いつも大好きだよ。  
せかいでいちばんのおとうさんだと  
おもふよ。いっしょに本を読んでく  
れてありがとう。

☆三年二組

お父さんのしょうかい  
きくち るか

わたしのお父さんをしょうかします。名まえは、きくちひろしです。みやぎ県角田市出身です。好きな食べ物は、ラーメンです。好きな色は赤です。お父さんが休みの日は、いろいろな所へ行って行ってくれます。でも、おこるとこわいです。お父さんの好きなことは旅行です。旅行に行ったときに、私がほしい物を買ってくれます。きょ年、カリフォルニアのユニバーサルスタジオでハリポッターのつえを買ってくれました。そのつえは、ハリポッターのコーナーでたくさんのまほうが使えます。とても楽しかったです。わたしは、お父さんがくすぐってくださいます。とてもわらってしまいます。

七月にメキシコへ引っ越しけれど、メキシコでもおしごとをがんばってほしいです。また、りょ行につれていってね。



☆三年二組

ぼくのおかあさん  
竹山 飛鳥

ぼくのお母さんは、やさしいです。なぜかというとき、しゅくだいするとき、たつてくれるからです。もう一つは、かたづけをたつてくれるからです。だからお母さんが好きです。

☆三年二組

ぼくのおかあさん  
後とう はやと

先週ぼくの好きな食べ物をたべておいしかったです。かみのけをエンマだいに王にしてくれてありがとう。いつも木曜日ダンスをやっています。ゲームソフトをいっばい買ってくれてありがとう。いつも土曜日にぼしゅうこうにつれてきてありがとう。ぼくをそだててくれてありがとう。

☆二年二組

おとうさんありがとう  
こうのあいね

パパいつもありがとう。日本語学校のお弁当を作ってくれてありがとう。パパがつくるおべんとうはおいしいよ。パパは、りょりのてんさいだよ。パパ大好きだよ。

☆二年二組おとうさん

ありがとう  
まつもと れみ

おとうさんありがとう。おとうさんは、いつもおしごとをがんばってくれてありがとう。おとうさんは、お休みの日もおしごとに行くけど、おむかえにきてくれてありがとう。わたしがねおれなとき、足をマッサージしてくれてありがとう。おとうさんの足マッサージは、とても気持ちいいです。

☆二年二組おとうさん

ありがとう  
にしお けんと

おとうさん、いつもがんばってくれてありがとう。しごとは、九時になっても十時になってもがんばって来てくれてありがとう。いつもたのしいりょこうにつれていってありがとう。そんなおとうさんが大好きです。

☆「森へ」の紹介文を書こう 6年1組

澤本 和奏

「森へ」には、アラスカの森が見せてくれるさまざまな表情が、写真と文章で語られている。私の心に残った写真は、倒木の上に育った4本の木の写真だ。なぜなら、1本の木が土台みたいになっていて、そこから木が生えている感じがすごく迫力があつたからだ。

次に心に残った場面は、最後にある木の場面だ。どうしてかという、私はたおれた木は役目がないと思っていたからだ。でもそんな1本の木でも、実はまだ役目があるのだ。一体何の役目になるのかは、読んでからのお楽しみである。

私がこの物語をすすめたい人は、私の友達だ。理由は、まだこの本を読んでいないので、この本をしょう介して読んでもらいたいからだ。この本を読んであなたもアラスカにいる感じになって冒険してみませんか。

☆「森へ」の紹介文を書こう 6年1組

竹内 翔太郎



「森へ」には、アラスカの森が見せてくれるさまざまな表情が、写真と文章で語られている。ぼくの好きな写真は、木の根っこの間にもう一本の木がたおれている。正確には、たおれた木から木が生えている。そのたおれた木は、生えてきた木にえいようをすいとられ、消える。それでたおれた木がこの写真になる。ぼくがこの写真が好きになった理由は、百年くらいかけて木が自分で動いているように感じてくるからだ。

ぼくのおすすめの場面は、4～6場面だ。理由は、「サケが森を作る」という言葉が好きだからだ。ぼくはこの本を弟にすすめたい。理由は、弟に自然が好きになってほしいからだ。また、弟に森はどういうふうになっているかを知ってほしいからだ。そして、アメリカにもこんな森があることを信じてほしいからだ。

あなたもこの本を読んでみよう。そうすると、「サケが森を作る。」の意味が分かるだろう。ぼくは「森へ」の本を読んで、自然がどれほどすばらしいか知ってもらいたい。

☆「森へ」の紹介文を書こう 6年1組

佐藤 隼人

「森へ」には、アラスカの森が見せてくれるさまざまな表情が、写真と文章で語られています。心に残った写真は、木が不思議に立ってるみたいな写真です。なぜなら、木の下に大きな穴があいているので、どうやってその木が立てるかなと、どんどん考えさせるからです。

おすすめの場面は、不思議な木の物語です。どうしてかという、やっとどうやってその不思議な木は立っているように見えるかが、こうやってなったんだとわかるからです。これをわかりたかったら、「森へ」を読んでわかります。これは現地校の友達におすすめしたいです。その理由は、そんなに同じ日本語の本と英語の本がないからです。これを読んで森の中に入れますよ。

☆「森へ」の紹介文を書こう 6年1組

日置 庵文



「森へ」には、アラスカの森が見せてくれるさまざまな表情が、写真と文章で語られています。ぼくの心に残った写真は、子グマが木の上でねているところです。どうしてかという、木の上でねているのがすごかったし、かわいかったからです。

ぼくの心に残った場面は、地面に横たわる古い倒木の上から、巨木が一行にならんでのびているところです。なぜこうなったのかという、一本のトウヒの木が年老いてたおれてしまいました。その木は死んでしまったけど、そこにトウヒの種子たちが根を下ろして倒木から栄養をもらって大きくなりました。次が気になるなら、読んでみてください。

だれにすすめたいかという弟です。なぜなら、自然はこうやって育っていくと知ってほしいからです。あなたもこの本を読んで、自然のことを知ってみませんか。

